

授業科目	認知・コミュニケーション障害支援学特論				
担当者	松井理直・山口忍・井口知也				(オムニバス)
実務経験者の概要					
学科名	保健医療学研究科	学 年	1 年	総単位数	4 単位
		開講時期	後期	選択・必修	選択

■ 内 容

言語・コミュニケーション障害の障害像を科学的に分析し、その評価法やハビリ・リハビリテーションを探究する。特に認知機能に関わる障害（聴覚障害・言語障害・知的障害など）について基礎知識を深く理解したうえで、認知機能の障害とコミュニケーション障害を学び、この領域の生活機能支援を包括的に実施できる知識を培う。認知機能に関わる各種障害について、診断や各種検査結果から現状を科学的に分析し、障害メカニズムとその結果を考察するために必要な基本的知識の涵養を目指す。また障害が生活にもたらす影響について理解する。最終回では講義で興味を持った分野をより深く自習し、ミニ講義を行う。

■ 到達目標

- ・ 認知機能に関する障害、特に聴覚障害・言語障害・知的障害や発達障害に関する状を分析できる。
- ・ 分析した症状を基に障害機序を考察できる。
- ・ 障害が生活にもたらす影響について考えることができる。 "

■ 授業計画

- 第1回 認知に関わる障害の概論
- 第2回 認知機能に関する障害と脳機能
- 第3回 認知およびコミュニケーション障害に関わる社会性 (1)
- 第4回 認知およびコミュニケーション障害に関わる社会性 (2)
- 第5回 認知およびコミュニケーション障害に関わる社会性 (3)
- 第6回 認知およびコミュニケーション障害に関する支援機器 (1)
- 第7回 認知およびコミュニケーション障害に関する支援機器 (2)
- 第8回 認知およびコミュニケーション障害に帯する支援方法 (1)
- 第9回 認知およびコミュニケーション障害に帯する支援方法 (2)
- 第10回 障害支援を行うための機器の選択と調整
- 第11回 障害者の生活場面における支援 (1)
- 第12回 障害者の生活場面における支援 (2)
- 第13回 認知機能に関する障害を持つ対象者の心理
- 第14回 症例検討 (1)
- 第15回 症例検討 (2)

■ 評価方法

症例検討における討論・口頭により、評価する

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

講義前に渡す資料を読了の上、受講すること

■ 教科書

授業中に指定する

■ 参考図書

授業中に指定する

■ 留意事項

--

■ 講義受講にあたって

--